

『家を建てるまで』 vol.3 (INCHの楽しい仲間たち vol.5)

年が明けました！家づくりも着々と進んでいます。今週末からは内装に取り掛かります！！(事務局)。

はてさて黒澤家新築プロジェクトも佳境を迎えようとしています。板金屋さんに屋根を張ってもらい、外装はほとんど終了。年明けより内装に取り掛かる予定です。

最近、そこかしこで「家を建てている」「小菅村に住む」を連発しています。そうすると、やっぱり何人かに村に永住を決めるのは早くないか、とか、好き好んで住むなんてよっぽど自然が好きなのね～と言われたりします。そんなに不便なところに住むの？っていう事なのでしょう。

確かに、最寄り駅(奥多摩)までは車で30分掛かるし、バスの本数は少ない。車が無ければ生活する上でとても不便な立地と言えます。しかもこの季節は道が凍る…。

でも、見方を変えると私にとってはとても住みやすい場所でもあります。すくなくとも、前にも言った、身の丈に合った「贅沢な暮らし」をするにはもってこいの場所です。徒歩圏内にコンビニはないけど温泉があるよ。だから新居のお風呂はアパート用のちっさいやつなんだー。床暖房とか24h蓄熱暖房とかは無いけど、オープン付の薪ストーブを作ってもらったよ。

おうちが出来たらやりたい事がたくさんあります。全部は無理かもしれないけれどできることや作れるものはチャレンジしたい。そしてゆったり暮らしたいと思っています。去年は沢山の人に助けられました。たくさん怒られて、いろいろ勉強になりました。今年もよろしくお願いします(はるこ)



足場のあるうちに、みんなに塗装も手伝ってもらいました。

10月25日金曜日。台風目前の不安の中、長い船旅を経たログ材が小菅村に到着しました。10トンレック一車で、一梱包4トンぐらいあるログ材5梱包を無事に降ろし終えました。梱包を解いて、これまでに整地～基礎～土台と準備してきた現場にログを積みはじめました。ログビルダーの若狭さん、キャンプ場の木下善晴さんを中心に、一段ずつ積んでいきます。最初のうちは、材料が多過ぎて順番に出していくのに苦労しましたが、だんだんと減る材料とともに家の形が出来上がっていきます。週末ごとに、皆さんにお越しいただき、電気配線も含めて、進めていただきました。



12月8日までに、板金屋さん(屋根業者)に引き継ぐところまで終了。翌日には板金屋さんが来て、屋根を張り始めたので、雨も雪ももう大丈夫な状態で年を越すことができました。今後は、風呂、水回りを専門業者をお願いしつつ、床張り、建具の設置を行います。1月11日を作業開始日の予定です。上棟式をやっていたので、1月18日には小さいながら、ご挨拶を兼ねて行います(ぜひ、お越しください～)。

木下善晴さんに、「昔から、家を普請するには、頭を7回下げるもんだ」と教わりました。

ご協力いただいた皆様に感謝をしながらの家づくりです。本当にありがとうございます！！

